

校長室の窓から

令和2年 7月17日

江戸川区立西小岩小学校 校長 則岡 小織

素敵な句が校内にたくさん！

西小岩小では季節ごとに「全校俳句」に取り組んでいます。最初は「俳句」を知らなかった子どもたちでしたが、今は「早く作りたい。」「もう考えた。」などと慣れたものです。今ではHAIKUとよばれ世界中が注目する文芸になりましたが、いったい「俳句」のどこが魅力なのでしょう。それは、五・七・五の十七音という短い文字の中に、自然のこと、人間の心等を写し取っているからです。

俳句を作るために、子どもたちはものをよく見るようになります、目・耳・鼻・手・口の五感を使って感じたことを表現するようになります。五・七・五のリズムに言葉を合わせると誰にでも作れてしまうよさもあり、低学年でも作れます。高学年になると、季語や言葉を選んでよりよい表現をしようと考えます。自然を感じる心、言葉のすばらしさに気づいて俳句づくりを楽しんでほしいと思います。今回、クラスで選出された句を紹介します。

<2年生>

父さんになにをあげよう父の日に
雨がふるきれいなどうろ水たまり
しょくぶつに雨がのったらきれいだな

はらしま しおり
かわぎし れい
小林 らいき

<3年生>

晴れになれてるてるぼうずとやくそくを
動物はいつもつゆの日何食べる
びんおいてポンポンポツとがっそうだ

さいとう かずさ
上田 春馬
さか本 ひじり

<4年生>

梅の実が葉っぱの中でかくれんぼ
蝸牛おやすみなさい葉の上で

太田 ゆうと
下田 ゆたか

<5年生>

いっしょにね心を咲かそうあじさいと
羽をとじ雨宿りをするアゲハチョウ
雨の中晴れるのまってるアサガオが
つゆのあめかえるとかえるおおずもう

豊岡 咲菜
町田 幸優
前川 蒼翔
西山 福凌

<6年生>

花さきて虫が応援雨よふれ
あじさいの小さなしずくに虹およう
梅雨の雨一面傘の水たまり

松岡 琉夏
矢野 由莉
金藤 颯奈

言葉や感性を育てるという点では、他教科でも取り組んでいます。音楽はまさに言葉を大切に、感性を大切にしている教科です。曲を聴いて思い浮かべる情景や様子、歌詞を理解してどう歌うか、表現するかなどそのものです。

【音楽室前の掲示】



心を育てる教科でもあります。楽器を演奏する技術と共に、情操教育にも音楽は欠かせません。梅雨時、ショパンの「雨だれ」が聞こえてきそうですね。



【4年生 理科の学習のまとめ 西1グランプリ】

「電気の働き」の学習で学んだことを生かして、より速い自動車を作って「西1グランプリ」に参加しました。電流が逆に流れてバックしてしまったり、コースアウトしてしまったりする友達にアドバイスをしている姿が見られました。

